

事業報告

平成29年度 教育事業

ジャンプアップキャンプ①

平成29年7月16日(日)～17日(月・祝)

【対象】小学校3・4年生

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣 旨～

小学校中学年の子供たちが、様々な自然体験活動を通して、自主性・協調性を伸張する機会となる体験プログラムを実施する。また、企画運営はボランティアが中心となって行い、子供達の成長を支援する。

～主催・後援団体～

主 催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後 援：伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:15～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	「目指せ！フィールド マスター」 ～アドベンチャー ハイク&宝探し～			タ バ の つ ど い	タ 食	「伝説の森」 ～五感を活か したナイトハ イクゲーム～		振 り 返 り	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	「スライスマスター」 ～みんなで野外炊事～ ・ピザ、ポトフ作り ・フルーツポンチ作り			振 り 返 り	開 会 式	14:30～ 閉会式 15:00 解 散							

～参加者～

小学3・4年生 計42名（長野県：36名、山梨県：4名、東京都：1名、三重県：1名）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「目指せ！フィールドマスター」

自然の家西尾根・硫黄沢エリアを使い、様々なミッションをクリアしたり、宝を探したりしながら存分に身体を動かした。企画委員の学生達がミッションマスターになりきり、それと出会った子供達が動物になりきって身体表現を行うという活動も組み込んだ。子供達は皆「フィールドマスター」の称号獲得を目指し、班で協力し合いながら森の中を探検していった。



活動Ⅱ 「伝説の森～五感を活かしたナイトハイクゲーム～」



各班毎，ナイトハイクをしながら五感を活かしたゲームに取り組んだ。子供達は小さな灯りを頼りに移動（視覚）し，朝・昼・夜の音を聞き分けるゲーム（聴覚）や，様々な草木のにおいを嗅ぎ分けるゲーム（嗅覚），箱の中のものに触り，それが何かを当てるゲーム（触覚），食べたものに含まれる果物を当てるゲーム（味覚）を行った。

暗闇と静寂の中で各感覚を研ぎ澄ましながらゲームに臨んだ子供達は，皆初めて行う自然を活かした遊びに目を輝かせていた。

活動Ⅲ 野外炊事「スライスマスター～ピザ・ポトフ・フルーツポンチ作り～」



野外炊飯棟で「ピザ・ポトフ・フルーツポンチ」を作った。子供達は野菜を切ったり，生地をこねたり，缶切りを使ったり，火起こしの補助をしたりしながら一生懸命活動に取り組んだ。

～参加者の声～

《参加児童》

- ・知らない子と友だちになって，みんなで高遠マスターに挑戦できたのが嬉しかった。夜の森の音もとても楽しかった。高遠マスターになれて本当に良かった。
- ・自分たちで作ったピザが本当に美味しかった。またぜひあのピザをみんなで作って食べたいと思う。
- ・高遠マスターの試練，難しかったけど本当に楽しかった。ナイトハイクも暗くてちょっと怖かったけど面白かった。
- ・他の学校の子と仲良くなれたし，ボランティアのみんながとっても優しく，本当に面白いことばかりだった。あと10泊したかった。
- ・みんなと協力していろんな試練に挑戦できて楽しかった。一番難しいピンポン球の試練を2発でクリアできたことが心に残っている。

～成果と課題～

- 当事業も徐々に知名度が上がり，過年度タイニーキャンプ参加者を中心に参加を熱望する方が増えてきた。今後もできるだけ大勢の子供達に参加してもらえよう，実施回数を維持したり，企画内容に関してボラの指導を丁寧に行ったりしながら，事業の充実を図っていきたい。
- ボラ自主企画の内容が大変充実しており，職員も大変新鮮な気持ちで事業に臨むことができた。今後も彼らの高いモチベーションを維持しながら，企画に携わりたいと願うボラの育成を図っていきたい。
- 新たな企画である「大型ピザ作り」に関する道具が不足しており，調理の段取りが後手に回ってしまった感があった。今回の反省を踏まえ，調理器具数にゆとりを持たせることができるよう手配しておきたい。